

令和4年度第1回さぬき市総合教育会議議事録

1 開催日時	令和4年7月25日(月) 開 会 10時30分 閉 会 11時57分		
2 場 所	寒川第2庁舎203会議室		
3 出席者	市長		大山 茂樹
	教育委員会	教育長	和田 浩二
		委員	檜原 秀樹
			得丸 慶子
			多田 俊
			西尾 由香
	岡田 保		
	事務局	教育部長	谷 訓昌
		教育総務課長	安倍 潤
		学校教育課長	高西 恵
		学校教育課主幹	長田 佐代
		生涯学習課長	細川 史朗
		幼保こども園課長	中川 勝幸
人権推進課長		山田 謙二	
教育総務課課長補佐		多田 端子(会議録調製者)	
教育総務課副主幹		新納 慶子	
その他説明等のため出席した者		なし	
4 会議に付した協議・調整事項	(1) 令和4年度における教育関係施策について (2) 学校におけるいじめ問題等の課題について (3) その他		
5 特記事項	傍聴人 2名		
6 会議内容	<p>開 会</p> <p>教育部長 ただ今から、令和4年度第1回さぬき市総合教育会議を開会します。 この会議は原則公開とされておりますが、今回、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、会議の日程を公表しつつ傍聴の自粛を呼び掛けており、傍聴者については、さぬき市ケーブルネットワークの取材関係者2名となっておりますので御報告します。 なお、議事録を会議後に公表することを申し添えます。 それでは、開会に当たり、市長から御挨拶をお願いします。</p> <p>市長 (挨拶)</p>		

教育部長	続いて、教育長から御挨拶を申し上げます。
教育長	(挨拶)
協議・調整事項	
教育部長	それでは、協議・調整事項に入ります。 ここからの議事進行については、さぬき市総合教育会議運営規程に基づき、市長をお願いします。
市長	それでは、議題に入ります。 (1) 令和4年度における主な教育関係施策につきまして、資料1について関係課長から説明をお願いします。
各関係課長	(「資料1 令和4年度の主要施策」について説明した。)
市長	今年度の各課の主要施策について説明がありました。 御質問や御意見がありましたら、どなたからでも結構ですのでお願いします。まず、教育総務課の方から長尾小学校改築事業と津田小学校進入路整備事業について説明がありました。これらの事業につきまして、何かありませんか。
教育委員	長尾小学校の改築工事については、子どもや教職員の工事中の不便さを少しでも軽減する対策をとっていると思いますが、具体的にどのような不便が生じるのか現場の先生の意見を聞いてもらいたいと思います。例えば、運動場が利用できない時に、体育の授業は、長尾総合運動公園を借りるということでしたが、学校からの移動時間を考えると他の授業にも影響が生じますので、やはり一番近い長尾中学校の運動場を借りるのが一番よろしいかと。低学年であれば、大きいスペースも必要ないし、高学年であっても体育の授業の内容によっては、必要なスペースが変わってきますので、狭くても授業ができる場合があります。どのような障害があつて、時間的、内容的にどのようなマイナスが生じるのか、現場の先生方に相談いただいて、少しでもマイナス面が軽減できるような対策をとってもらいたいと思います。
市長	ソフト面で可能なものについては、新しい取組をして、マイナス面を少なくしていきたいと思います。教職員に相談しながら、子供たちとともに、工事期間を乗り切っていきたいと思います。 では、次に学校教育課の事業である地域部活動推進事業、学校給食共同調理場施設整備計画策定事業について、何か御質問や御意見があれば、お願いします。
教育委員	給食についてですが、給食というのは、高齢者の給食から学校の子供たちの給食まで、対象が広いものです。近年、給食の運営について、民間が参入する時代になりました。直営で調理場を運営していく場合、資金面が大きな問題になると思いますが、一方でアレルギーの子どもに対する対応の問題などがあります。細かいところでどう対応し、どう改善していくかについて、重要な議論が必要であると考えます。
市長	アレルギーを持っている子供に責任はないので、社会全体で応援し、支えるべきだと考えています。給食は、楽しく、おいしく、そして安心して安全に食

	<p>べてほしいというのが願いです。必要なところに経費を使えるよう検討してほしいと思います。</p>
教育委員	<p>子どもが高校生になって、学校給食の提供を受けなくなった時、学校給食の重要性を認識しました。学校給食は、子どもにとって重要な栄養源であり、親も助かります。また、市が調理場を直営することで、学校と一緒に食育をすることができます。給食の運営は、民間に委ねるのではなく、是非、無理をしても市が直営するべきではないかと思っています。</p>
市長	<p>民間に委託した方が、経費も節約できて、かつ、良いものを提供できるということであれば、民間への委託も検討すべきであると思います。逆に民間に委ねると、効率は良くても、細かな配慮が欠けているというような部分があるのであれば、注意が必要であると考えています。さぬき市で小中学校時代を健康に過ごしてもらえよう、学校給食を提供していきたいと思っています。加えて、学校給食に特徴を持たせることも大事であると考えています。いずれにしても、給食の有り難さを感じてもらえよう給食が提供できるよう多方面から検討していただきたいと考えます。</p> <p>次に、生涯学習課の公民館整備事業、展示館施設整備事業について、何か御意見があれば、お願いします。</p>
教育委員	<p>新しく志度と長尾に公民館が建設されるということで、住民の方々は、大いに興味、関心があると思います。生涯学習を考えていく上で、公民館のような公共施設は、近くの人が気軽に行けて、したいことができる身近な場所という認識を持ってもらうことが大切であると考えます。</p> <p>また、展示館施設整備事業は、細川林谷さんの記念館ということですが、林谷が歴史上どういうことをした人なのかをしっかりと PR して、学校教育、特にふるさと教育に結びつけ、教職員の初任者研修の場や子供たちの校外学習の場として広く活用することで、更に記念館の意義が高まることと思います。</p>
市長	<p>展示館施設については、地域の方々から自分たちの作品を展示したり、ワークショップを開いたり、書や絵画などを展示するスペースを作ってほしいという意向があります。しかしながら、建築資材が高くなり、予算的に難しい面もありますので、どういった施設にするか、どのような工夫をするかについて、現在検討中です。是非とも地域の意向に沿えるような施設にして、子供たちも含めて、市民の方々に芸術に触れられる機会を提供できるよう検討していきたいと考えています。</p>
教育委員	<p>新しい公民館ですが、せっかく作るのなら、たくさんの方が気軽に立ち寄って利用できる施設にしてほしいと思います。</p> <p>さぬき市は、公共施設が多いのが弱みでもあり、強みでもあると思います。公民館の利用は、敷居が高いと感じている人もいますので、もっとたくさんの方が使えるよう、PR していくことが大事だと思います。</p>
市長	<p>公民館を利用するに当たり、市民の方々はお客さんではないと私は思うんです。自分たちができる範囲で、みんなが利用しやすいように、行政任せではなく、市民主体となって公民館を運営してほしいと思います。せっかく作るの</p>

	<p>で、この公民館は、自分たちが作ったんだという意識を持っていただき、例えば、公民館のサポーターのような役割を市民の方に担ってほしいと思います。</p> <p>次に、幼保こども園課から幼稚園の施設整備や運営事業等についての説明がありました。何か御意見ありませんか。</p>
教育委員	<p>個人的な考えになりますが、幼稚園については、こども園にした方がより充実するのではないかと考えます。共働き世代が多いという現状を考えると、幼稚園の入園を考える保護者が少ないと思います。幼稚園児が減少していくと幼稚園のすばらしい教育がもたないと感じています。小中学校の教育の充実も当然大事なことです。就学前教育の充実こそ市にとって大事なことであると考えますので、幼稚園や保育所の充実を市のビジョンに掲げて、就学前教育を充実させるべきではないかと思っています。</p>
市長	<p>幼稚園、保育所の垣根をとって、幼稚園の良いところ、保育所の良いところをそれぞれ取り入れて、就学前教育に力を注ぎたいと思います。医療費をはじめとして、子供を取り巻く施策はたくさんありますので、こういった施策を優先していくかを検討しながら進めて行きます。</p> <p>次に、人権推進課です。男女共同参画などが叫ばれていますが、まずは、人権問題が重要であると考えます。一人ひとりが多様性を認める社会を作るために、人権について認識することが重要です。</p>
教育長	<p>日頃の小さな積み重ねが人権教育につながります。特に、学校教育の中で、それぞれの問題について連携させて、子供に教えていくことが重要なのではないかと思います。今言われている SDG'S の根本は、人権であると思います。</p>
市長	<p>人権問題を自分の問題として考えられる子供あるいは親であってほしいです。一人の人権が守られても、他の人の人権が守られないと意味がない。人権における最たる問題としていじめ問題があると思います。</p> <p>続いて、協議事項（2）学校におけるいじめ問題等の課題について、移ります。</p>
関係課長	<p>（「資料2 「さぬき市内小中学校におけるいじめ・不登校の現状について」を説明した。）</p>
市長	<p>いじめや不登校問題については、保護者の立場から見た問題点、教職員から見た問題点、立場によって見方が変わるとは思いますが、何か御意見ありませんか。また、委員の皆さんが子供の時と比べて、今の問題をどう捉えていますか。</p>
教育委員	<p>いじめは、昔も今も根本的には変わっていないと思います。社会や家庭の環境が大きく変わってきていますが、教員は、いじめられる子の立場に立つことが大事です。</p>
教育委員	<p>いじめた、いじめられた経験は、みんなあると思います。ただ、昔は、今のようには騒いではいなかったように思います。保護者の方も学校に言いやすくなっていると思いますが、誤解が生じるおそれがありますので、まずは、子供の気持ちを一番に考えて対応していただきたいと思っています。</p>
教育委員	<p>高校でも、いじめや不登校は大きな問題です。特に、SNS 上での誹謗中傷</p>

	<p>などのいじめが大きな問題です。</p> <p>いじめや不登校の問題については、徹底的に継続して対応するしか方法がないと思います。お互いを尊重するという人権教育を継続することで、困っている子が減ってくることを願います。</p>
教育委員	<p>いじめ問題については、子どもの問題であるのに、親が全面に出てしまい、間違った方向へ進むことがあるような気がします。子供よりもむしろ保護者の教育の方が必要で、小学校へ入る前の幼稚園や保育所の段階で保護者教育が必要です。子供がいじめにあったとき、子どもが不登校になったときにどこへ相談に行くべきなのか、分からない親御さんが多いです。子どもと一緒に親も育っていかなければならないと思います。</p>
教育委員	<p>子供の時にトラブルを自分で解決する経験を積まないと、大人になった時に社会に対応するのが難しいように思います。</p>
市長	<p>いじめや不登校については、件数で議論するのは、意味をなさないと思います。いじめや不登校問題は、自分たちの問題であるということを一人心が認識すべきであると思います。今は、子供も多様な子がいる時代です。いずれにせよ、子供が早い段階で誰かに相談できるという仕組みを構築することが必要で、学校だけが取り組むべきことではなく、様々な立場の人が関わっていくことが大事だと思います。</p>
教育長	<p>いじめや不登校に関しては、重要な案件であり、かつ、難しい問題であると考えます。時代背景として、少子化や地域力の低下が大きな要因ではないかと思えます。そういった中で、学校だけの問題ではないことは、教育委員会として認識しています。いじめや不登校問題については、早期発見、早期対応が一番大事であると思えます。解決を学校現場だけに求めるのは、非常に難しいので、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを中心とした連携体制をもとに、専門性の高い方々の協力が必要なのではないかと考えます。そういった仕組みを構築し、いじめ問題に対応していきたいと思えます。また、不登校については、さぬき市では適応指導教室 FINE を運営していますが、不登校の子供の居場所づくりということで、そういった適応指導教室を拡充していくことも対応策の一つだと考えています。</p>
市長	<p>いじめや不登校については、中身を追い求める必要があります。専門家の意見も大事ですが、自分が困ったときに相談できる相手をつくるのが大事であると考えます。相談できる相手が有資格者である必要はありません。相談できる人、つまり一番信用できて信頼できるのは、やはり保護者ではないかと思えます。子どもが相談できる、子どもに信頼される保護者を増やしていくことが重要であると思えます。</p>
教育委員	<p>いじめられている子は、いじめられていると口に出して言えないので、周りがそれを理解してあげることが大事です。</p>
市長	<p>最近の子どもは、勉強以外のことで褒められることが少ないような気がします。どうでしょう。</p>
教育委員	<p>アメリカで子育てをしていた経験を通して感じることは、日本はアメリカと</p>

	比べて、決定的に褒める回数が少ないです。駄目なことは駄目だと厳しく教える一方で、もっと褒めることが大事かもしれません。
教育委員	社会的な風潮として勉強ができればいいという考えの方が多いと思います。勉強以外の面で優秀な子がたくさんいるので、そういった子供をもっと認めて、褒めて自己肯定感を伸ばして行ってほしいです。もっと、子供と向き合っ てほしいですね。
教育委員	子供たちを多面的に評価していくことは、大事だと思います。子供の能力を引き出すために、いろいろな先生に関わってもらうことも大切です。
教育委員	少子化もあって、子供に対する保護者の期待値が昔より高くなっています。大人もゆとりを持って、子供に接することが大事です。
市長	学校は、勉強に力を入れることを第一としている傾向にあります。学校のテストは、数値化できるため評価がしやすいということもありますので、やむを得ないとは思いますが。
教育長	やはり、皆さんの話を聞いて、本当に大事なものは、家庭教育であることを実感しています。昔も今も家庭教育の基本は変わっていません。改めて、家庭教育の重要性を保護者に認識してもらえよう、力を入れる必要があると感じています。
市長	さぬき市の学校へ行ってよかったという子供が一人でも多くなるように、教育委員の皆さんからヒントとなる意見をいただき、いじめや不登校で悩んでいる子供を一人でも救うことができるよう、私たち大人も何が大事かをよく考えて、教育現場と連携をとりながら、試行錯誤していきたいと考えます。 教育委員の皆さんからは、今後とも御意見をいただき、皆さんと一緒に施策を考えていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。 以上をもちまして、令和4年度第1回総合教育会議を閉じたいと思います。本日はありがとうございました。
閉 会	
教育部長	以上をもちまして、令和4年度第1回さぬき市総合教育会議を閉会します。